

学校教育目標	「元気 友達 笑顔 いっぱい かがやく 小田小学校」 知: 課題の解決に向けて、自らすすんで、根気強く取り組む子を育てます。 徳: 豊かなふれあいを大切にし、互いに認め合える子を育てます。 体: 心と体を鍛え、生命や健康を大切にすることを育てます。 公: 地域の人やものを大切にし、共に生きる子を育てます。 開: 様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。				
	創立 32 周年	学校長 中川 浩二	副校長 川村 恵子	2 学期制	一般学級: 19 個別支援学級: 4
学校概要	児童生徒数: 605 人 主な関係校: 小田中学校(併設型小・中学校)				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	併設型 小・中学校	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<p>〈問題発見・解決能力〉 〈自分づくりに関する力〉 〈持続可能な社会の創造に貢献する力〉</p>	小田中学校	<p>コミュニケーションを通して 社会や自分の未来を創造する子ども</p> <p>○小中合同授業研究会、研修会を通して、主体的、協働的に課題を解決する力の育成を旨とした授業改善 ○小田小中学校の特色を生かした、自分づくりに関する力を育成する小中一貫カリキュラムの作成と実践 ○小中合同スローガンをもとに、持続可能な社会の担い手であること実感できるような取組の実践</p>

中期取組目標	<p>保護者・地域とのつながりの中で「夢中になって学ぶ楽しさ」を味わえる小学校を築く教職員集団「チーム小田」を目指します。 ○私たち「チーム小田」は、子ども一人一人を徹底的に大切に、安心・安全で信頼される学校づくりを目指します。 ○私たち「チーム小田」は、研究、研修に努め、子どもたちが学び合う楽しさを味わえる授業改善を図ります。 ○私たち「チーム小田」は、子どもたちの自尊感情をはぐくむために、心の育ちを支援する学校づくりに努めます。 ○私たち「チーム小田」は、地域とのかかわりを大切に、学校内外との協働を進めます。 ○私たち「チーム小田」は、自ら「学ぶ楽しさ」を子どもとともに実践し、学び続ける教職員集団であり続けます。</p>
--------	--

重点取組分野		具体的取組
知	生きてはたらく知	・「開かれた楽しい授業」に向け、重点テーマ「一人も独りにしない学びを目指して」を設定し授業改善を図る。重点研では、各教科において、自分の考えをもち判断し、表現したいと思える学習場面を設定し、共に学び合う中で改題解決に向かい、多角的な考えをもてるようにする。
徳	豊かな心	・子どもの実態を大切に、道徳の授業や人権教育(人権週間を含む)を大切にして、全学級道徳の授業に力を入れ、懇談会でも日頃の様子や授業の様子について話題に出すようにする。 ・たてわりふれあい活動や委員会活動の取り組みを充実させ、小田小ならではのよい伝統である異学年交流の日常化を継続していく。ペア学年に関わらず、学習や行事を通じた意図的な交流の充実を進めていく。 ・KCSや学援隊を含めた地域の方々との交流を行い、感謝の気持ちをもてるようにする。
体	健やかな体	・体力向上一校一実践として行う長縄集会に向けて、学級で意図的・計画的に取り組む。また、「縄跳びの日」も設定し、意欲的に取り組めるようにすることで体力の向上に励む。 ・自らの健康を考え、望ましい食習慣について学べるように、全学年でバランスイナワークに取り組む。
公開	国際交流	・YICAのカリキュラムとの統合性を図り、YICAの学習で学んだことを生かすことのできる年間計画を立て、計画的に交流を進める。 ・全校児童が姉妹校への相手意識を持続できるよう、ぬいぐるみ交流や相手校の様子などを報告する場を学年に応じて設定する。 ・全校児童がオーストラリアの児童とパティを組み、行事などの折にメッセージ交換を行う。
児童指導	児童指導部	・学習スタンダードを徹底し、学校全体で同じ方向を向いて指導・支援をし、定着を図るようにする。 ・生活目標を「あいさつをしよう」「整えよう」に特化し、すすんで取り組めるように意識を高めていく。 ・小さなことでも丁寧に对应していくために、報告・連絡・相談がいつでもできる学年研を中心とした、風通しのよい体制のもと、対応をすすめる。必要に応じて、専任・養護教諭を含めたチーム体制での取り組みを充実させる。
地域連携	地域連携	・学校支援活動について検討する協議会 開催 ・地域等への普及啓発、広報活動 ・昨年度までの実績をもとにした学校支援ボランティア活動の作成と運用 ・学校支援活動の実施・学習支援活動・校内環境美化支援活動・図書館支援活動等の充実 ・年間計画とその活動実績をまとめ、次年度以降利用できるようにする。
特別支援	特別支援委員会	・個別支援学級の児童の交流級や交流学年と指導の連携を密にしていくために日々報告・連絡・相談をしていく。 ・個別支援学級の環境整備を行い、ユニバーサルデザイン教育について理解し、実践していく。 ・引き続き、特別支援教室の充実を通して、すべての児童が安心して学習意欲の向上を目指していけるようにする。
学校運営協議会	副校長・教務部	・小田中学校との小中合同学校運営協議会に取り組み、小中9年間の児童・生徒の成長を連携して支えていく地域の力としての運営協議会の土台を築く。 ・小中合同学校運営協議会の利点を生かし、よりコミュニケーションの力を高める小中合同の活動を行い、「9年間で育てる子ども像」を目指す。
いじめへの対応	児童指導部	・月1回いじめ防止対策委員会を実施し、全校で見守る姿勢を大切に、再発防止及び予防・開発に努める。 ・年2回の児童アンケートにより些細な変化を見逃さない体制づくりを行うとともに、現状の把握に努める。 ・心配なことがあったら、即時的に対応チームを作り、スピード感のある対応を進めていく。
人材育成・組織運営(働き方)	学校経営会議	・5年次以下の教職員を中心にメンターチームを組織し、月1回の活動を継続して行う。 ・学校経営会議(管理職、主幹教諭、学校運営部部長)を月1回行い、中長期的な学校運営及び働きやすい職場作りを推進する。 ・子どもと向き合う時間を確保するため、掲示板の活用、朝会や打ち合わせの簡潔化、会議の精選を行う。